持帰り厳禁

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで
一切開かないでください。

令和８年度

丙種化学(液化石油ガス)　法令試験問題

CX

試験時間　9:30 ～ 10:30

〔注意事項〕

1. **配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。**
   万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
2. 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
3. 解答は、各問題の下に掲げてある (1) ～ (5) の解答選択肢の中から、**最も適切なものを一つ選び、答案用紙にマーク**してください。
   １問につき二つ以上の解答を選択し、答案用紙にマークした場合には、その問については０点になります。
4. 採点はコンピュータで処理しますので、答案用紙にマークする場合には、枠いっぱいにはみ出さないように黒く塗りつぶしてください。
5. 筆記用具は、**鉛筆又はシャープペンシル（ＨＢ又はＢ）以外使用できません。**
6. 訂正する場合は、**消しゴムでていねいに消してから訂正**してください。
7. **問題の内容に関する質問にはお答えできません。**
8. 試験開始後、30 分間は退室できません。
9. **この問題用紙は回収します。**途中退室する方は退室時に、最後まで受験する方は試験終了時に答案用紙と併せてこの問題用紙を提出してください。

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えを選択肢の中から一つ選びなさい。

なお、この試験は、次による。

(1) 令和８年４月１日現在施行されている高圧ガス保安法に係る法令に基づき出題している。

(2) 経済産業大臣が危険のおそれがないと認めた場合等における規定は適用しない。

(3) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

問１　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のために、民間事業者による高圧ガスの保安に関する自主的な活動を促進することも定めている。

ロ．収容定員300人以上である劇場は、液化石油ガス保安規則に定める第一種保安物件である。

ハ．常用の温度35度において圧力が0.2メガパスカルとなる液化ガスであって、現在の圧力が0.1メガパスカルのものは、高圧ガスではない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問２　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．第一種製造者(冷凍のため高圧ガスの製造をする者を除く。)は、その製造をした高圧ガスをその事業所において販売しようとするときは、その旨を都道府県知事等に届け出なくてよい。

ロ．第一種製造者がその事業の全部を譲り渡したときは、その事業の全部を譲り受けた者はその第一種製造者の地位を承継する。

ハ．第一種製造者は、高圧ガスの製造を開始したときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等に届け出なければならないが、高圧ガスの製造を廃止したときは、その旨を届け出る必要はない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問３　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．第二種貯蔵所の所有者又は占有者が液化石油ガスを容器により授受した場合、所定の事項を記載した帳簿の保存期間は、その記載の日から２年間と定められている。

ロ．液化石油ガスを廃棄するときは、火気を取り扱う場所又は引火性若しくは発火性の物をたい積した場所及びその周囲８メートル以内を避け、かつ、通風の良い場所で少量ずつしなければならない。

ハ．第二種製造者が、容積3000立方メートル以上の高圧ガスを貯蔵しようとするときは、その高圧ガスの種類にかかわらず、第一種貯蔵所において貯蔵しなければならない。

(1)　イ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問４　次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．高圧ガスの製造施設が危険な状態になったときに、この製造施設の所有者又は占有者がとるべき危険時の措置として、直ちに、応急の措置を行うとともに、製造の作業を中止し、製造設備内のガスを安全な場所に移し、又は大気中に安全に放出し、この作業に特に必要な作業員のほかは退避させることと定められている。

ロ．第一種製造者がその事業所において指定する場所では、何人も火気を取り扱ってはならない。また、何人も、その第一種製造者の承諾を得ないで、発火しやすい物を携帯してその場所に立ち入ってはならない。

ハ．高圧ガスの製造(冷凍に係るものを除く。)について、都道府県知事等の許可を受けなければならない場合の処理することができるガスの容積の最小の値は、液化石油ガスと窒素については同じ値である。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問５　高圧ガスを充填するための容器(再充填禁止容器を除く。)に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．容器に充填する液化石油ガスの質量は、その容器の内容積に関係なく、容器に刻印等又は自主検査刻印等で示された最大充填質量以下のものでなければならない。

ロ．容器の製造又は輸入をした者は、その容器に自主検査刻印等をしたもの又はその容器が所定の容器検査を受け、これに合格し所定の刻印等がされているものでなければ、特に定められたものを除き、その容器を譲渡し、又は引き渡してはならない。

ハ．容器の所有者は、その容器が容器再検査に合格しなかった場合であって、所定の期間内にこれに充填する高圧ガスの種類又は圧力の変更に伴う刻印等がされなかったときは、遅滞なく、その容器をくず化し、その他容器として使用することができないように処分しなければならない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問６　高圧ガスを充填するための容器(再充填禁止容器を除く。)及びその附属品に関する次の記述のうち、容器保安規則上正しいものはどれか。

イ．容器の内容積(記号　V、単位　リットル)は、容器検査に合格した容器に刻印等すべき事項である。

ロ．容器検査に合格した液化石油ガスを充填するための容器の外面には、特に定める容器を除き、容器の所有者(容器の管理業務を委託している場合にあっては容器の所有者又はその管理業務受託者)の氏名又は名称、住所及び電話番号を明示しなければならない。

ハ．附属品検査に合格したバルブには、そのバルブが装置されるべき容器の内容積を示す記号の刻印がされている。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問７　液化石油ガスの特定高圧ガス消費者に関する次の記述のうち、液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．消費設備のうち、その周囲５メートル以内において火気(その設備内のものを除く。)の使用を禁じられているのは、貯蔵設備のみである。

ロ．甲種化学責任者免状の交付を受けているが液化石油ガスの消費に関する１年以上の経験を有していない者を、この消費施設の特定高圧ガス取扱主任者として選任することができる。

ハ．消費設備の立地する地盤が堅固であっても、貯蔵能力が15トンの貯槽の支柱(支柱のない貯槽にあっては、その底部)は、同一の基礎に緊結しなければならない。

(1)　ロ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問８から問16までの問題は、次の例による事業所に関するものである。

［例］　次に掲げる液化石油ガスの製造施設を有する事業所であって、コンビナート地域外にあるもの
この事業者は、認定完成検査実施者、認定保安検査実施者又は認定高度保安実施者のいずれでもない。

製造設備の種類	：	定置式製造設備(タンクローリ(容器を固定した車両)により液化石油ガスを貯槽に受け入れ、貯蔵し、専ら容器(自動車燃料装置用容器を除く。)に充填するもの)
事業所全体の処理能力	：	550,000立方メートル毎日
貯槽の貯蔵能力	：	50トン　２基（地盤面上に設置されたものであって、低温貯槽でないもの)
ポンプ	：	定置式　２基
圧縮機	：	定置式　１基
容器置場	：	貯蔵設備でなく、かつ、車両に固定した容器を貯蔵しないものであって、液化石油ガスに係る面積1,000平方メートルのもの

問８　この事業者に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．高圧ガス保安協会又は指定講習機関が行う高圧ガスによる災害の防止に関する講習を、所定の期間内に保安係員に受けさせることができない場合は、保安統括者にその講習を受けさせ、保安係員への指導をさせればよい。

ロ．危害予防規程を定め、都道府県知事等に届け出なければならない。また、その危害予防規程を変更したときも、都道府県知事等に届け出なければならない。

ハ．従業者に対する保安教育計画を変更したときは、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問９　この事業者に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．選任した保安係員に行わせるべき職務の一つに、「定期自主検査の実施を監督すること。」がある。
ロ．製造保安責任者免状の交付を受けていない者を保安統括者として選任する場合は、所定の製造保安責任者免状の交付を受け、かつ、高圧ガスの製造に関する所定の経験を有する者を保安技術管理者として選任しなければならない。
ハ．所定の製造保安責任者免状の交付を受けている者又は高圧ガスの製造に関する所定の経験を有している者のいずれか一方の要件を満たす者を、保安係員に選任することができる。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　ハ　　(4)　イ、ロ　　(5)　イ、ロ、ハ

問10　この事業者に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．製造施設の特定変更工事を完成したときに受ける完成検査は、都道府県知事等、高圧ガス保安協会又は指定完成検査機関のいずれかが行うものでなければならない。
ロ．特定施設について指定保安検査機関が行う保安検査を受け、その旨を都道府県知事等に届け出た場合は、都道府県知事等が行う保安検査を受けなくてよい。
ハ．製造施設の定期自主検査を行ったときは、所定の検査記録を作成して保存しなければならないが、その検査記録を都道府県知事等に届け出なくてよい。

(1)　イ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問11　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．これらの貯槽の相互間に有すべき距離は、防火上及び消火上有効な措置を講じていない場合は、貯槽の最大直径には関係なく１メートルである。
ロ．これらの貯槽の基礎を不同沈下等によりその貯槽に有害なひずみが生じないものとした場合であっても、その貯槽の沈下状況を測定するための措置を講じ、所定の基準により、その沈下状況を測定しなければならない。
ハ．これらの貯槽に取り付けた液化石油ガスを送り出し、又は受け入れるために用いられる配管には、その貯槽の直近にバルブを設けなければならないが、これらのバルブを使用時以外に閉鎖しておくべき定めはない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　ロ、ハ

問12　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．製造施設には、その製造施設から漏えいする液化石油ガスが滞留するおそれのある場所に、そのガスの漏えいを検知し、かつ、警報するための設備を設けなければならない。
ロ．これらの貯槽及びその支柱を有効に冷却するための措置を講じた場合は、貯槽及びその支柱以外の製造施設に防消火設備を設ける必要はない。
ハ．製造設備に設けたバルブのうち、液化石油ガスの貯槽の直近に取り付けたバルブにのみ、作業員がそのバルブを適切に操作することができるような措置を講じなければならない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問13　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．これらの貯槽に液化石油ガスを充填するときは、液化石油ガスの容量がその貯槽の常用の温度においてその内容積の90パーセントを超えて充填してはならない。
ロ．液化石油ガスをタンクローリから受け入れる場合は、製造設備の配管とそのタンクローリの配管との接続部分において液化石油ガスが漏えいするおそれがないことを確認しなければならないが、液化石油ガスをタンクローリに送り出す場合は、その必要はない。
ハ．液化石油ガスをタンクローリから貯槽に受け入れるとき、タンクローリの容器の内容積が4000リットル以上である場合は、車止めを設けること等によりその車両を固定してガスの受け入れを開始しなければならない。

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問14　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．高圧ガス設備に設けた安全弁又は逃し弁に付帯して設けた止め弁は、修理又は清掃のため特に必要な場合以外は常に全開しておかなければならない。
ロ．液化石油ガスの貯槽を開放して修理をするときは、あらかじめ、その作業計画及び作業の責任者を定めなければならないが、ポンプを分解して修理をするときは、その必要はない。
ハ．液化石油ガスの貯槽の清掃をするため作業員が貯槽を開放し、又は貯槽内に入るときは、危険を防止するための措置を講じなければならない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　ハ　　(4)　イ、ロ　　(5)　イ、ハ

問15　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．容器置場の外面から第二種保安物件に対して所定の距離を有する必要があるが、その距離は、容器置場に置くことのできる液化石油ガスの貯蔵量に応じて算出される。
ロ．容器置場に直射日光を遮るための措置を講じる場合、その措置は、液化石油ガスが漏えいし爆発したときに発生する爆風が上方向に解放されることを妨げないものでなければならない。
ハ．容器置場には、その規模に応じ、適切な消火設備を適切な箇所に設けなければならない。

(1)　ロ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問16　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．転落、転倒等による衝撃を防止する措置を講じた残ガス容器(内容積が12リットルのもの)には、バルブの損傷を防止する措置を講じるべき定めはない。
ロ．容器置場に置く容器と火気又は引火性若しくは発火性の物との間を有効に遮る措置を講じていない場合、その容器置場の周囲２メートル以内においては、火気の使用を禁じ、かつ、引火性又は発火性の物を置いてはならない。
ハ．容器置場には、携帯電燈を携えて立ち入ってはならないと定められている。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　ロ、ハ

問17から問20までの問題は、次の例による事業所に関するものである。

［例］　次に掲げる液化石油ガスの製造施設のみを有する事業所であって、コンビナート地域外にあるもの
　この事業者は、認定完成検査実施者、認定保安検査実施者又は認定高度保安実施者のいずれでもない。

製造設備の種類	：	液化石油ガススタンド
事業所全体の処理能力	：	100,000立方メートル毎日
貯槽の貯蔵能力	：	20トン　２基(地盤面上に設置されたもの１基、地盤面下に埋設されたもの１基)
ポンプ	：	２基(地盤面上に設置されたもの１基、地盤面下に埋設された貯槽に内装されたもの１基)
圧縮機	：	１基
ディスペンサー	：	２基

問17　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．高圧ガス設備には、所定の圧力計を設けるとともに、その設備内の圧力が許容圧力を超えた場合に直ちにその圧力を許容圧力以下に戻すことができる安全装置も設けなければならない。
ロ．貯槽に設ける液面計は、丸形ガラス管液面計以外のものとしなければならない。
ハ．地盤面下に埋設した貯槽であっても、液化石油ガスの貯槽であることが容易に識別できるような措置を講じなければならない。

(1)　イ　　(2)　イ、ロ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問18　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．高圧ガス設備に使用する材料は、液化石油ガスの性状、温度、圧力等に応じ、その設備の材料に及ぼす化学的影響及び物理的影響に対し、安全な化学的成分及び機械的性質を有するものでなければならないが、高圧ガス設備以外のガス設備に使用する材料については、その定めはない。
ロ．高圧ガス設備に設けた安全弁のうち、所定の放出管を設けるべき定めがあるのは、貯槽に設けたものに限られる。
ハ．内容積が5000リットル以上である液化石油ガスの貯槽に取り付けた液状の液化石油ガスを送り出すために用いられる配管及び受け入れるために用いられる配管には、そのガスが漏えいしたときに安全に、かつ、速やかに遮断するための措置を講じなければならない。

(1)　イ　　(2)　ハ　　(3)　イ、ハ　　(4)　ロ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問19　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．貯蔵設備及び処理設備の外面から第一種保安物件に対して有すべき第一種設備距離及び第二種保安物件に対して有すべき第二種設備距離は、貯蔵設備の貯蔵能力から算出される。
ロ．高圧ガス設備の配管の変更工事後の完成検査における気密試験は、常用の圧力の1.5倍以上の圧力で行わなければならないと定められている。
ハ．既存の地盤面下に埋設された貯槽に隣接して貯蔵能力10トンの貯槽１基を新たに地盤面下に埋設する場合、既存の地盤面下に埋設された貯槽との相互間の距離についての定めはない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ

問20　この事業所に適用される技術上の基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

イ．ディスペンサーを増設する場合、その本体の外面から公道の道路境界線に対し５メートル以上の距離を有して設置しなければならない。
ロ．充塡を受ける車両は、地盤面上に設置した貯槽の外面から３メートル以上離れて停止させるための措置又は貯槽と車両との間にガードレール等の防護措置を講じなければならない。
ハ．燃料として使用する車両に固定した容器に充塡する液化石油ガスは、無臭のものでなければならない。

(1)　イ　　(2)　ロ　　(3)　イ、ロ　　(4)　イ、ハ　　(5)　イ、ロ、ハ